

竹川病院 木下 崇美PT科長

功 績	2022年1月から2月に発生した新型コロナウイルス陽性者発生に際して、リハビリ部のとりまとめを行った功績
推 薦 者	リハビリテーション部部長 可児利明
推 薦 理 由	2022年1月から2月に発生した新型コロナウイルス陽性者発生に際して、リハビリ部のとりまとめを行い、感染管理の指導監督をしていただきました。木下科長の迅速な対応により、大規模なクラスターとならず無事終息することができたため、理事長賞に推薦いたします。

内 容

木下 崇美PT科長は当院の勤務に長年精励され、PT科の全体管理も行われています。

また4階病棟のリハビリの管理者としても日々業務に邁進されており、実績指数の管理など通常の理学療法士としての業務にとどまらず、才能を発揮されています。

院外の活動としても板橋区の介護保険の認定に関しても携わり、また区西北部脳卒中連携懇話会において、区民向け講座の講義を行う等、院内外においてその活躍は幅広く、慕われています。

先日当院新型コロナウイルス感染症の第6派にして初めて比較的大規模といえる院内感染状況が発生いたしました。梶田副院長陣頭指揮のもと封じ込めや、陽性者の方の転院などで大規模なクラスターとならず終息を迎えましたが、病棟の努力もさることながら、大人数の部署であるリハビリ部においてスタッフの健康状態の管理監督、動線の分離、検査の取りまとめ、物品の管理などリハビリ部における指導監督について木下PT科長の担った功績は小さいものではありません。

同じく新型コロナウイルス感染症の影響により可児リハビリテーション部部長が不在の中、すでに帰宅されていたにもかかわらず、初動においてすぐに現場に駆けつけご対応いただき、感染管理の一翼をになっていただきました。

以上により理事長賞に推薦いたします。